

沿岸定線観測速報 ちば (2022年1月)

千葉丸：1月5～9日

千葉県水産総合研究センター
千葉県農林水産技術会議
令和4年1月25日

黒潮は、房総沖を接岸して、小さく蛇行しながら北東に流れていました(図2)。水温は、銚子・九十九里海域、房総海域いずれも平年並でした(表1)。

(詳細)

水深10mの水温は、九十九里や太東岬沿岸は13～14℃、それ以外の海域は16～20℃でした(図3)。太東岬沖では、大陸棚上の水深50～150mに14℃以下の冷水が見られました。この冷水は、犬吠埼沖及び九十九里沖の水深150m前後にも小規模ながら見られましたが、野島埼沖では見られませんでした(図5)。一方、犬吠埼沖では、大陸斜面上の水深300～500mに親潮由来と考えられる低温低塩分水(7℃以下、34.2PSU以下)の水塊が見られました(図5,6)。

海面の流れは、黒潮流路上や外房沖では北北東～北東へ1～3ノットでした。また、外房の沿岸では北から北西へ向かう流れになっており、千倉付近では1ノット近くになっていました(図2)。

クロロフィル濃度は、九十九里、太東岬沿岸では1μg/L以上でした。全体的に、概ね例年並みの濃度でした(図7)。

勝浦沖のキンメダイ漁場の水温は、水深150m付近では前年並で、その他は海面から底層まで前年より3℃低め、銚子沖はいずれの水深も前年並みでした(図8)。

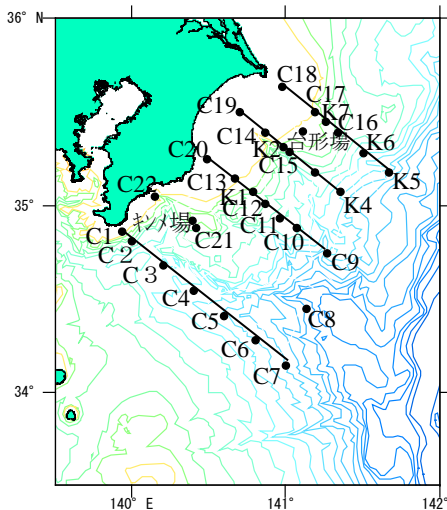


図1 調査点(c7～9, k1,4,5は欠測)

線は北から犬吠埼、九十九里、太東岬、野島埼南東線

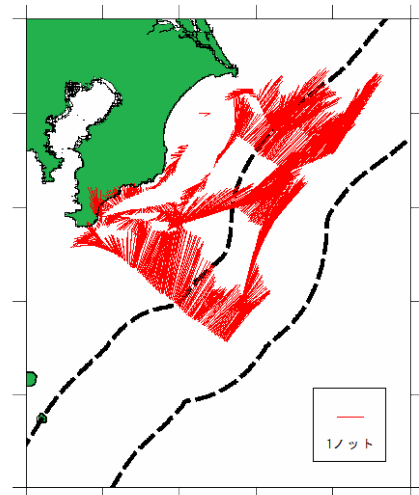


図2 黒潮流路(破線)と流況

表1 海域別平均水温(℃)と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	16.4 平年並	17.3 平年並	16.5 平年並	15.2 平年並
外房	17.0 平年並	16.7 平年並	15.8 平年並	14.6 平年並

*水温評価点 銚子・九十九里海域：C14～20 計7点、外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点

*沿岸水温評価の目安(σ：標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ～
高め	1.3 σ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ～1.3 σ
平年並み	0.0 σ～0.6 σ
平年並み	-0.6 σ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ～

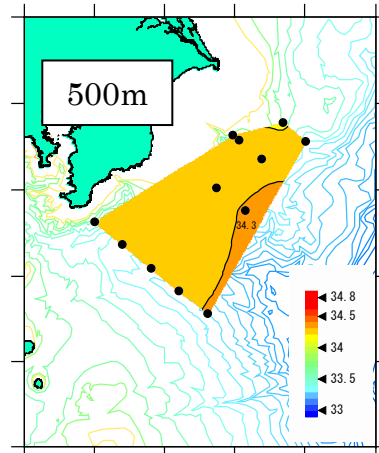
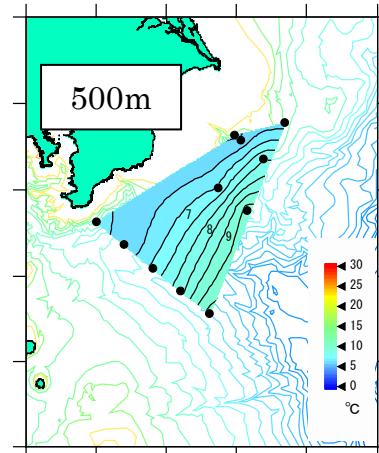
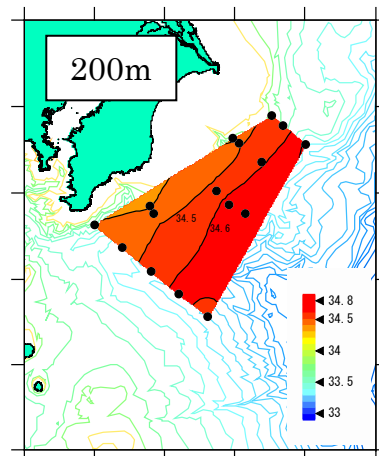
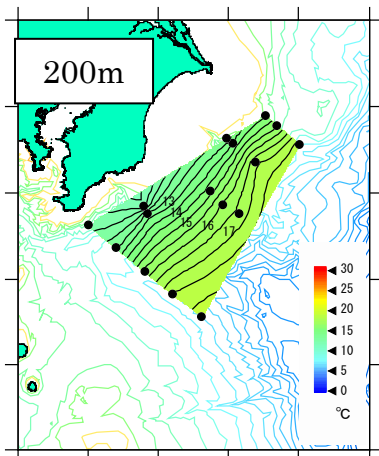
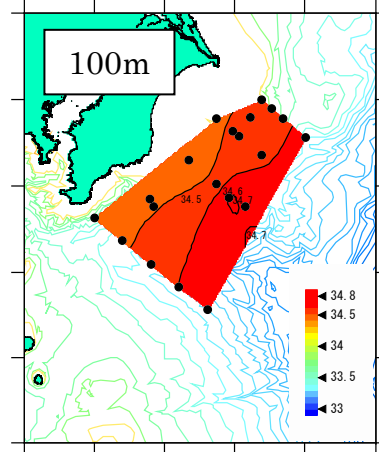
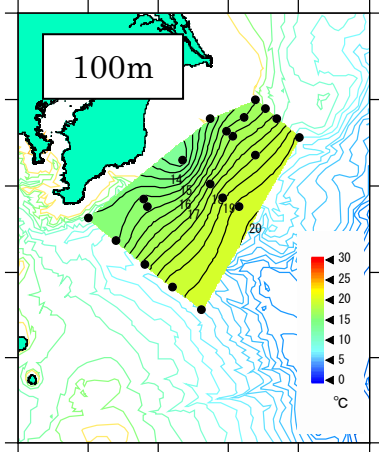
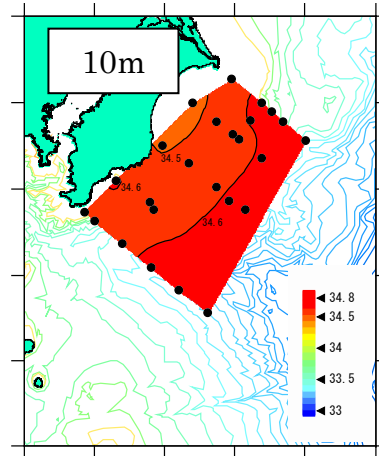
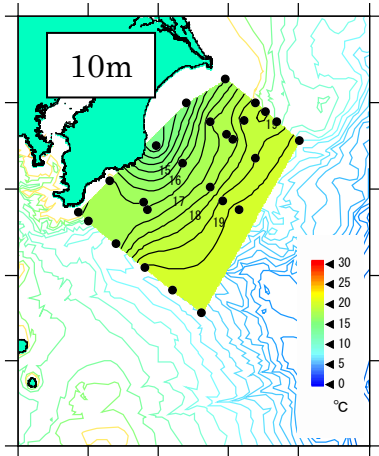


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

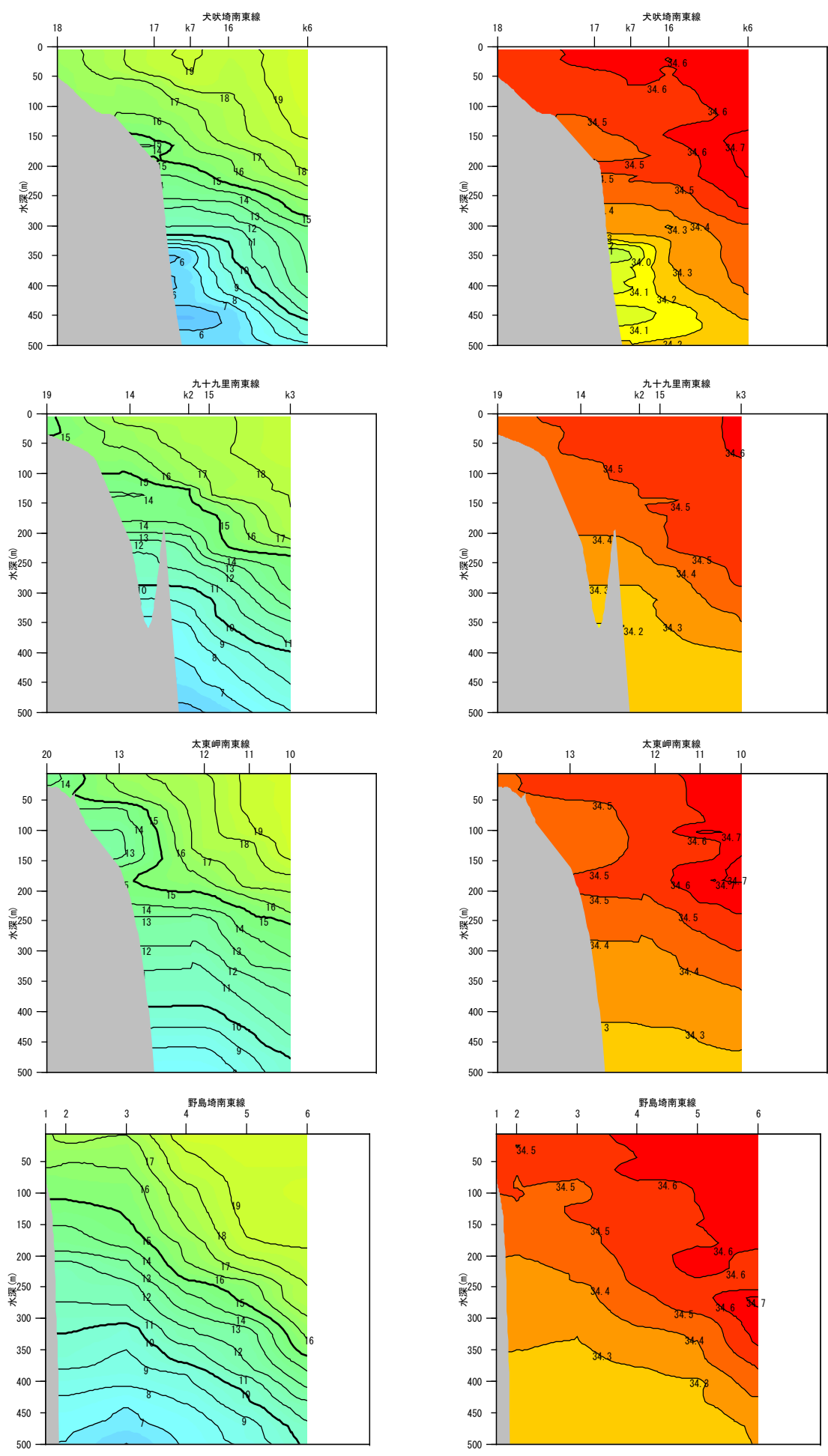


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線（図1参照）

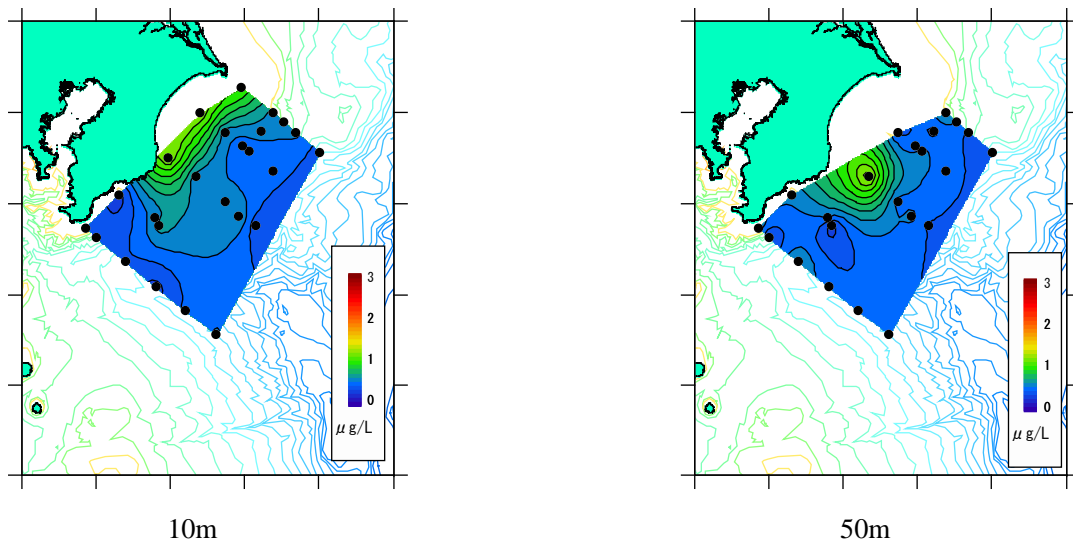
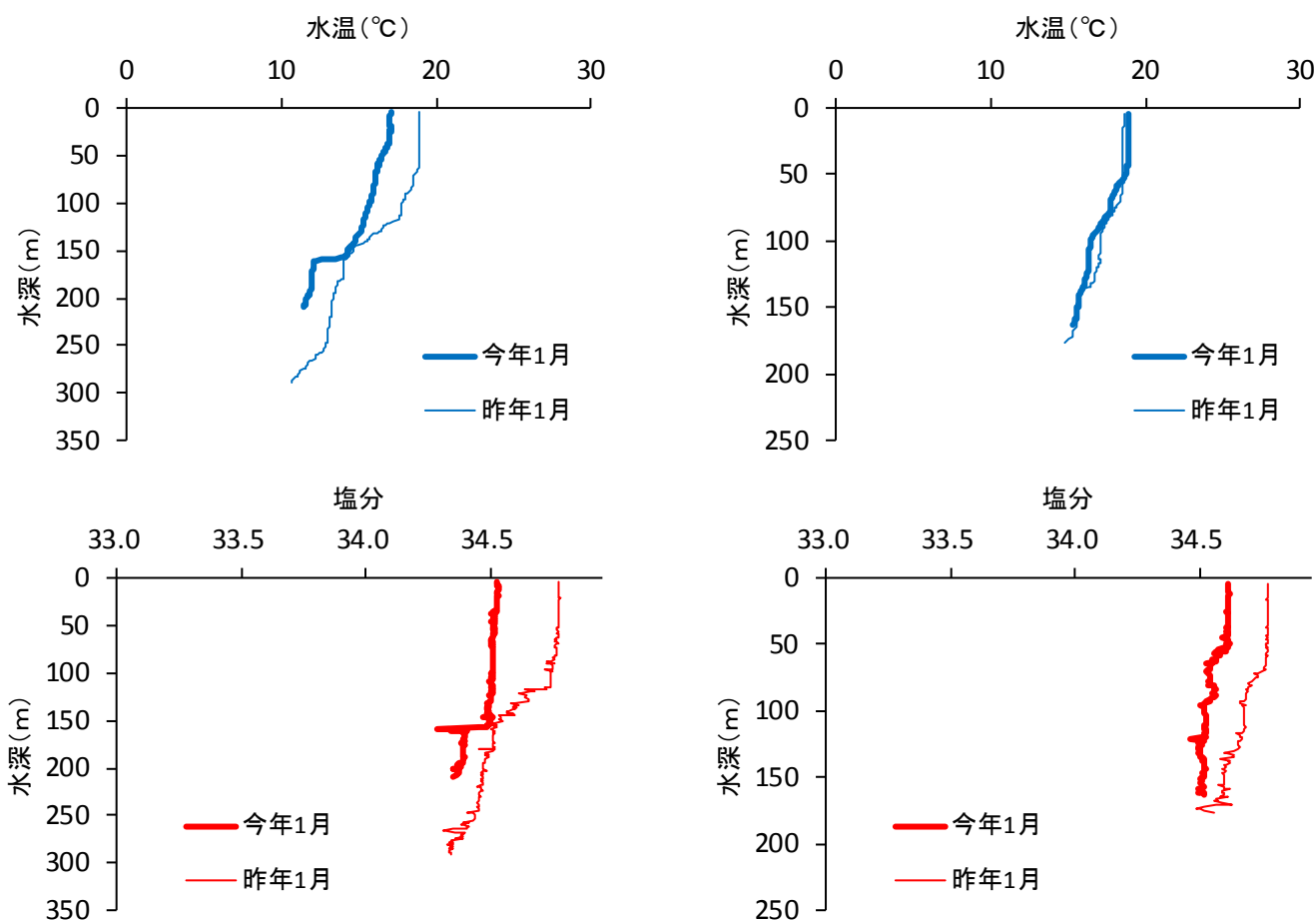


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温, 塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)